

【第5回アフリカ開発会議サイドイベント】

JICA 研究所—コロンビア大学政策対話イニシアチブ共同研究発表会 アフリカの経済構造転換

国際協力機構（JICA）は、6月2日13時より、横浜インターコンチネンタルホテルにて、JICA 研究所とコロンビア大学政策対話イニシアチブ（Initiative for Policy Dialogue: IPD）の共催で「アフリカの経済構造転換」をテーマにシンポジウムを開催しました。冒頭、ノーベル経済学賞受賞者のジョセフ・スティグリッツ教授（コロンビア大学）が基調講演を行い、アクバル・ノマン教授（同大）、福田パー咲子教授（ニュー・スクール）、ヤウ・アンズ氏（アフリカ経済変革センター）、細野昭雄シニア・リサーチ・アドバイザー（JICA 研究所）を加え、パネルディスカッションを行いました。その後、アフリカ諸国の政策決定者、国内外有識者、一般参加者を交え、アフリカ経済の課題について議論しました。



ジョセフ・スティグリッツ教授

JICA 研究所は IPD とアフリカの経済構造転換にかかわる共同研究を実施してきました。この共同研究の成果として、著名研究者による論考を収めたワーキング・ペーパー集を作成しました。JICA 研究所からは、細野昭雄シニア・リサーチ・アドバイザーと島田剛研究員（JICA 研究所）の論文が掲載されています。今回のサイドイベントは、共同研究の成果発表を通じ、アフリカの政策決定者へ問題提起を行うことを目的として開催しました。

スティグリッツ教授からは「アフリカが21世紀の課題に立ち向かうのに、いかに産業政策が重要か」と題して基調講演があり、パネルディスカッションでは日本やアジアの経験にもとづく経済構造転換における政府の役割、また、TICAD をいかに post-MDG などの議論に繋げていくべきなのか、などについて白熱した議論が行われました。立ち見も出るほど盛況となった会場からは、多くの質疑応答が出され今後の国際社会がいかにアフリカの経済構造転換を支援するべきなのかについて熱い議論がなされました。

今回、この分野を牽引する著名研究者を迎え、アフリカ諸国の政策決定者を交えて議論し、アフリカの持続的発展を支えるためには経済構造転換が重要課題であると改めて確認が進みました。今回の議論が、今後、各国の政策に反映されていくことが期待されます。また、JICA 研究所は今後も、国際的な研究ネットワークを通じ、共同研究を行っていく予定です。そして、今回のような場で実務へ直結する研究を行うことでアフリカの開発に貢献していきます。

【第5回アフリカ開発会議サイドイベント】

■本イベントの登壇者

【基調講演】

- ・ ジョセフ・スティグリッツ教授（コロンビア大学）

【パネリスト】

- ・ アクバル・ノマン教授（同大）
- ・ 福田パー咲子教授（ニュー・スクール）
- ・ ヤウ・アンス氏（アフリカ経済変革センター）
- ・ 細野昭雄シニア・リサーチ・アドバイザー（JICA 研究所）

【モデレーター】

- ・ 加藤宏研究所長（JICA 研究所）